

「ワールドスターコンテスト 2020」にて 「キリン 生茶デカフェ」が「ワールドスター賞」を受賞

～環境に配慮し、再生ペット樹脂を100%使用した“R100 ペットボトル”を採用～

キリンビバレッジ株式会社（社長 堀口英樹）が販売している、カフェインゼロ^{※1}の緑茶飲料「キリン 生茶デカフェ」（430ml ペットボトル）は、世界包装機構（WPO：World Packaging Organization）が主催する「ワールドスターコンテスト 2020」のビバレッジ部門において「ワールドスター賞」を受賞しました。

※1 0.001g（100ml当たり）未満を0gと表記

同コンテストは、優れたパッケージおよびその技術の開発普及を目的に毎年開催されているもので、世界の包装分野における最大級のコンテストです。「日本パッケージングコンテスト」^{※2}に入賞した作品が、「アジアスターコンテスト」^{※3}、「ワールドスターコンテスト」への出品資格を獲得し、入賞を目指してアジアや世界各国から出品された作品と競い合います。2020年は合計324点が出品され、212点が受賞しました。

※2 主催：公益社団法人 日本包装技術協会

※3 主催：アジア包装連盟（APF）

キリングroupは、「食から医にわたる領域」で価値を創造し、世界のCSV^{※4}先進企業になることを目指して、「健康」、「地域社会・コミュニティ」、「環境」を軸にCSVの実践に注力しています。2019年2月には「環境」への取り組みの一つとして「キリングroup プラスチックポリシー」を策定しました。「キリングroup プラスチックポリシー」では、ペットボトルなどの資源循環を推進するため、「日本国内におけるリサイクル樹脂の割合を2027年までに50%に高める」ことを目指しています。その目標達成に向けた具体策の第一歩として、2019年6月より「キリン 生茶デカフェ」に、環境に配慮して再生ペット樹脂を100%使用した“R100ペットボトル”を採用しました。

※4 Creating Shared Valueの略。お客様や社会と共有できる価値の創造

<受賞概要>

- 受賞商品
「キリン 生茶デカフェ」（430ml ペットボトル）
- 受賞種別
「ワールドスター賞」
- 評価のポイント

環境に配慮した事例が多く出品された中、資源の持続性（Sustainable）を考え、再生ペット樹脂を100%使った、包材の適切な使用により、包装技術的に優れている点が評価されました。

<「キリン 生茶デカフェ」商品概要>

- 中味について
 - ・厳選した国産茶葉を100%使用しています。
 - ・当社の独自技術である茶抽出液からカフェインを選択的に吸着除去する「カフェインクリア製法」（特許製法）により、緑茶のうまみを残したまま、カフェインゼロを実現しました。
 - ・緑茶ならではの“まるやかなうまみ”と“コク”を楽しめます。
- パッケージについて
 - ・環境に配慮し、再生ペット樹脂を100%使用した“R100ペットボトル”を採用しました。
 - ・正面に大きく分かりやすく「R100」の文字を配置しました。
 - ・「生茶」のシンプルで洗練された佇まいをベースに、白色を基調とした素材の良さを表現したデザインです。



当社は、2020年2月に「キリングroup環境ビジョン 2050」を策定し、その中で「容器包装を持続可能に循環している社会」を目指すことを宣言しています。今後もリサイクル材やバイオマスなどを使用した持続可能な容器包装の展開を推進します。

今後もキリングroupは、豊かな地球の恵みを将来にわたって享受し引き継ぎたいという思いを、バリューチェーンに関わる全ての人々と共につないでいくために、さまざまな社会課題に対する取り組みを積極的に進めていきます。